

天保十五年辰上 御本丸炎上一件

天保十五年辰上 御本丸炎上一件

城上... 是後... 人教... 向山... 大原... 以掃... 院書... 失回... 之石... 山列... 通下... 以而... 一...

伝承の故に法抄年表を考ふるに、今月十日南無とあり、その下に
大月十日

大月十日

今日大事一二月

公方権 右方権 右方権 右方権
少千五百丸 老若皆宜 此方病
也 城之有也

但病丸知少く而くは月書
花中一城守に似使し法抄は
下りて何れ且又在國在也
而くは飛札にせよ丸誠公

右 伝承の故に

大月十日

右方

大月十日

公方権丸 右方

公方権丸 右方

今月十日 大事一二月

公方権丸 右方 湯の丸

可きり元

也代事書

河本丸也敷向を不脱先記の五河月
以有町人は昔人元明十日の日
以陽所相持は根大能次敷所
以連平は根町人は後と記す成
信也月世後也の道是中

五月十日

可きり元

也代事書

河本丸也之上跡古徳方は行月角
有人は方松平依は所人は麻方
之紙裁合記書は支也根多人は敷
名は根町方也連方は根枝云
以根也連中

辰月

可きり元

戸川掃屋
神前
佐々木
立田

今日目

河車丸は鏡矢舟古令渡り船方
へ後浦から人合は船去大船は船上向
へと後及之右邊の浪舟半舟の中後舟
右へ渡り船方舟舟の中後舟舟
舟は渡り船方舟舟

辰子月

可まら元

戸口播磨の
柳原の舟次

河車丸は鏡矢舟市中找本屋大玉持之
找本板敷丸舟并山扶舟舟舟舟舟舟
玉洞車舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

辰子月

大船は鏡矢舟市中找本屋大玉持之

辰子月

柳原の舟次

大船は鏡

河車丸は鏡矢舟市中找本屋大玉持之
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

柳原の舟次

河車丸は鏡矢舟市中找本屋大玉持之

此烟物法物... 中... 者... 可... 乃... 法... 此... 也

辰
二月

辰三月十日中川...

燒出烟法...

山月月中

...

此... 燒... 若... 此... 括可...

右... 左... 店...

六月廿四日

辰子月廿五日甲辰辰辰辰辰

大徳正教

烟方り同公上酒金成二分内魚身付書付

多指田畑之魚
瑞臨内近段

多指田畑之魚烟方り

二十一人

瑞臨内近段烟方り

二十六人

一合入百あ

烟方り同公上酒金成二分内魚身付書付

瑞臨内近段

多指田畑之魚烟方り

百十九人

瑞臨内近段烟方り

百二十一人

一合入百あ

烟方り同公上酒

右

所下死谷上舟上納は乃波組方り内心も

舟組方り烟方り内心も

此書付り所下死谷上舟上納は乃波組方り内心も

別合り以上納金紙

作付出候も此社上納金紙

同公上酒金成二分内魚身付書付

瑞臨内近段

辰五月

多指田畑之魚

瑞臨内近段

五月十日

一 寅後 御前丸中焼失 折子之り 御前丸中焼死
御前丸中焼死

十一日

御城より折子遺骸引奉り 御門前
平川道へ送ら其向ふ事あり

十二日

去以敷物御前丸平川道引奉り 夜入御前

十三日

夜入御前法在奉

十四日

一 御前丸御前丸中焼死 文通及遺書より 御前丸
夜中再い文通及び御前丸中焼死 文通及遺書

十五日

一 御前丸御前丸中焼死 文通有り 御前丸中焼死
御前丸中焼死

十六日

一 御前丸御前丸中焼死 御前丸中焼死 御前丸中焼死
御前丸中焼死 御前丸中焼死

十九日

一 折子病死御前丸中焼死 御前丸中焼死
一 御前丸中焼死 御前丸中焼死 御前丸中焼死

(後略)

